

社会資本総合整備計画

道の駅「みさき」周辺地区都市再生整備計画

平成 27 年 1 月 27 日

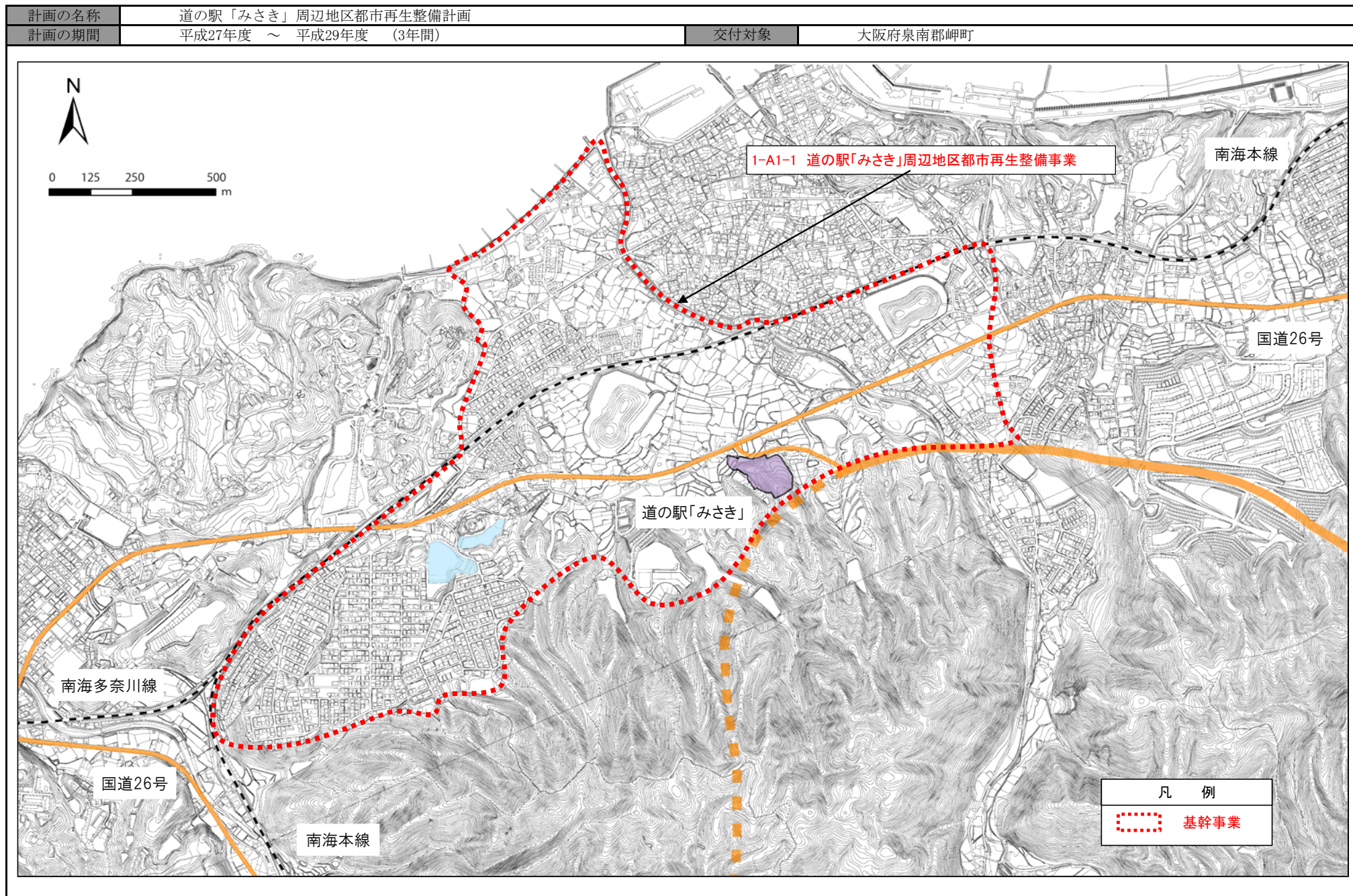
大阪府泉南郡岬町

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (市街地整備)

計画の名称	道の駅「みさき」周辺地区都市再生整備計画														
計画の期間	平成27年度 ～ 平成29年度 (3年間)					交付対象	大阪府泉南郡岬町								
計画の目標	<p>大目標：地域資源や貴重な歴史・文化資源を活かした賑わいを創出するとともに、安全・安心で快適な生活環境の形成を図る。</p> <p>目標1：第二阪和国道の整備インパクトを活用した観光・交流の促進</p> <p>目標2：都市基盤整備の促進による安全・安心で快適な生活環境の形成</p>														
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 主要観光施設 (みさき公園、せんなん里海公園、淡輪海水浴場、青少年海洋センター) の入場者数を87.5万人/年 (H24) から95.0万人/年 (H29) に増加する。 淡輪地域における『防災対策の推進』に対する満足度を11.2% (H21) から30.0% (H29) に増加する。 淡輪地域における『道路整備の推進』に対する満足度を20.0% (H21) から30.0% (H29) に増加する。 														
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考			
									当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)				
	主要観光施設 (みさき公園、せんなん里海公園、淡輪海水浴場、青少年海洋センター) の年間入場者数を調査する。								87.5万人/年		95.0万人/年				
	淡輪地域における『防災対策の推進』に対する満足度を住民にアンケート調査する。								11.2%		30.0%				
	淡輪地域における『道路整備の推進』に対する満足度を住民にアンケート調査する。								20.0%		30.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	461.2	A	461.2	B	0.0	C	0.0	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$		0.0%				
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-A1-1	都市再生	一般	岬町	直接	岬町	道の駅「みさき」周辺地区都市再生整備事業	区域面積 A=170ha	岬町						461.2	
合計												461.2			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
合計												0.0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

(参考様式3)

(参考図面) 市街地整備



都市再生整備計画

みち えき しゅうへん ち く
道の駅「みさき」周辺地区

おおさか ふ せんなん ぐん みさき ちょう
大阪府 泉南郡 岬町

平成27年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	みさきちょう 岬町	地区名	みちえき 道の駅「みさき」周辺地区	面積	170 ha					
計画期間	平成	27	年度	～	平成	29	年度					
					交付期間	平成	27	年度	～	平成	29	年度

目標

【大目標】地域資源や貴重な歴史・文化資源を活かした賑わいを創出するとともに、安全・安心で快適な生活環境の形成を図る。

- 目標1: 第二阪和国道の整備インパクトを活用した観光・交流の促進
- 目標2: 都市基盤整備の促進による安全・安心で快適な生活環境の形成

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、岬町北東部に位置し、海岸部を中心に広がっている市街地は、市街化区域として用途地域により土地利用規制が行われている。一方、山林や農地を中心とした山間部は、市街化調整区域の土地利用規制が行われている地区である。
- ・本地区を含む淡輪地域の人口は平成26年3月末時点で、9,550人となっており、近年は減少傾向にある一方、高齢化率は増加傾向にある。
- ・本地区周辺には、岬町を代表するみさき公園やせんなん里海公園などの各種レクリエーション施設が集積し、海洋スポーツ、レクリエーションの拠点として、多くの観光客が訪れる地域資源を有している。
- また、本地区周辺には、宇塚墓、西陵などの古墳や船守神社などの歴史的な資源も多く点在しており、歴史的な地域景観を形成している。
- ・第二阪和国道の本線が整備中であり、本地区内においては、平成23年3月26日に淡輪ランプが暫定供用を開始されており、渋滞の解消や観光・レジャー客の集客などにおいて、その効果の発現が観測されているところである。
- また、広域からの来訪者が地域内の施設にアクセスするための玄関口となることから、道路利用者への安全・快適や地域の振興に寄与することを目的とした休憩施設や観光交流センターなどを有する道の駅(道の駅「みさき」)が淡輪ランプ付近に整備される予定である。
- ・岬町では、平成26年4月に観光協会が発足し、今後の観光振興への寄与が期待される。
- ・南海・東南海地震などの災害による被害が懸念される中、防災機能を備えた一次避難地としても活用可能な道の駅(道の駅「みさき」)が整備される予定である。また、海岸と内陸部を結ぶ南北方向の広幅員の幹線道路の整備が遅れていることなどから、交通円滑化などの面においてもその改善が望まれている。

課題

<観光・交流人口の拡大>

- ・本地区は、高齢化の進行に加え、今後の人口減少が懸念される状況であるため、広域交通ネットワークの整備インパクトを活用した地域の活性化拠点となることが期待されている。そのため、観光交流人口の増加に対応した施設整備を促進する必要がある。

<生活環境の向上>

- ・安全・安心で快適に住み続けられる地区とするため、交通基盤等の整備の促進による町内交通の円滑化を図るとともに、防災機能を充実することで、生活環境の向上を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- ・岬町都市計画マスタープラン[H23.3]では、本地区を含む淡輪地域において、以下の目標が掲げられている。
 - ①安全で快適な市街地環境の形成を図るとともに、住民と観光・レクリエーション客がふれあえる交流拠点の形成を目指す。
 - ②みさき公園駅周辺を「新交流拠点」として位置づけ、新たなまちの拠点として商業・業務及び居住などの都市機能の誘導と集積を目指す。
- ・岬町地域防災計画[H17.3]では、防災空間の整備(第2編第1章第1節第1、P.19)において、「1.都市公園等の整備」として、以下の目標が掲げられている。
 - 防災に資する身近な都市公園の整備として、緊急避難の場所となる街区公園、広場公園等の整備に努める。

目標を定量化する指標

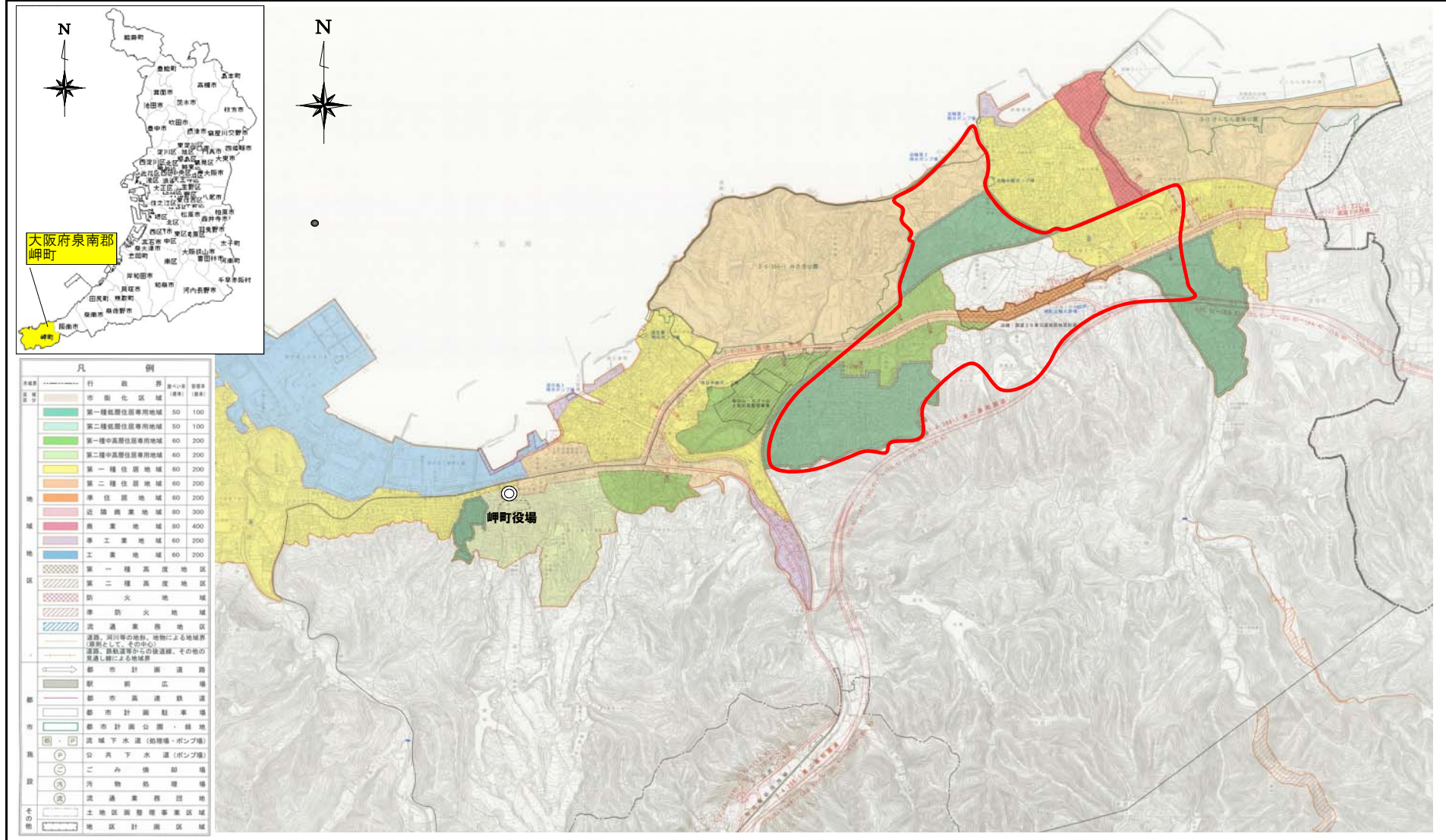
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 観光・交流人口	万人/年	主要観光施設(みさき公園、せんなん里海公園、淡輪海水浴場、青少年海洋センター)の入場者数	観光・交流の促進(目標1)の指標として、「主要観光施設の入場者数」を採用する。交通基盤の整備や道の駅「みさき」との連携により、全体で約1割増を目指す。	87.5	平成24年	95.0	平成29年
2. 安全・安心に関する満足度	%	地区住民アンケート調査の「生活環境の整備や自然環境の保全」に関する問のうち淡輪地域における『防災対策の推進』に対する満足度	生活環境の向上(目標2)のうち「安全・安心」に関する指標として、アンケート調査による「防災対策の推進に関する満足度」を採用する。防災機能の充実により、3割以上の人の満足を得ることを目指す。	11.2	平成21年	30.0	平成29年
3. 生活環境に関する満足度	%	地区住民アンケート調査の「都市基盤の整備」に関する問のうち淡輪地域における『道路整備の推進』に対する満足度	生活環境の向上(目標2)のうち「快適」に関する指標として、アンケート調査による「道路整備の推進に関する満足度」を採用する。交通基盤の整備により、3割以上の人の満足を得ることを目指す。	20.0	平成21年	30.0	平成29年

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1: 第二阪和国道の整備インパクトを活用した観光・交流の促進 地域資源や貴重な歴史・文化資源を活かした賑わい創出の基盤となる地域交流施設の整備を図る。</p>	<p>観光交流センター(観光情報案内、イベント・交流、駐車場等)(基幹事業/高次都市施設) 夕野池及びカイガ池(基幹事業/地域生活基盤施設) 地域特産物開発(提案事業/地域創造支援事業) 観光交流センター(テラス)・眺望景観の活用(提案事業/地域創造支援事業) 事業効果分析調査(提案事業/事業活用調査) 第二阪和国道(関連事業) コミュニティバス路線の運行(関連事業) イベントの実施(関連事業) 地場特産品・おもてなし提供(関連事業)</p>
<p>目標2: 都市基盤整備の促進による安全・安心で快適な生活環境の形成 南海・東南海地震などの災害による被害が懸念される中、防災機能を備えた一次避難地の整備を図る。</p>	<p>観光交流センター(観光情報案内、イベント・交流、駐車場等)(基幹事業/高次都市施設) 夕野池及びカイガ池(基幹事業/地域生活基盤施設) 事業効果分析調査(提案事業/事業活用調査) 特定交通安全施設等整備事業(道の駅)(関連事業) (仮称)海岸連絡線(関連事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>○事業終了後においても、第二阪和国道の供用後の整備インパクトを活用して、更に積極的なまちづくりに取り組んでいく。</p>	

都市再生整備計画の区域

道の駅「みさき」周辺地区(大阪府泉南郡岬町)	面積	170 ha	区域	岬町淡輪の一部
------------------------	----	--------	----	---------



道の駅「みさき」周辺地区(大阪府泉南郡岬町) 整備方針概要図

目標	地域資源や貴重な歴史・文化資源を活かした賑わいを創出するとともに、安全・安心で快適な生活環境の形成を図る	代表的な指標	観光・交流人口 (万人/年)	87.5	(H24年度)	→	95.0	(H29年度)
			安全・安心に関する満足度 (%)	11.2	(H21年度)	→	30.0	(H29年度)
			生活環境に関する満足度 (%)	20.0	(H21年度)	→	30.0	(H29年度)

